

平成27年12月1日

行政視察活動記録

教育民生常任委員会
委員長 大村 一彦

年月日	平成27年11月16日 から 平成27年11月17日 まで
場 所 及び目的	京都府京丹後市 市立久美浜病院 地域医療構想における市民病院のあり方について 兵庫県朝来市（中川こども園、山口こども園） 子育て支援施策の今後のあり方について

年月日	平成27年11月16日
相手方 及び目的	京都府京丹後市 市立久美浜病院 「地域医療構想における市民病院のあり方について」 （地域包括医療・ケアにおける病院の事業展開について）
内容・ 結果等	<p>【病院の概要】</p> <p>基本理念：笑顔と心のこもった良心的な医療 地域に密着したぬくもりのある確かな医療 保健・医療・福祉を一体化した包括医療</p> <p>職員数：職員144名（内、医師14名、歯科医師4名）、臨時・非常勤職員96名、合計240名（平成27年4月1日現在）</p> <p>診療科目：14科</p> <p>許可病床数：一般病床110床（内、ICU4床）、療養病床60床</p> <p>【視察概要】</p> <p>まず、赤木重典院長から、「地域包括ケアシステムと地方創生～連携と協働による地域づくりと人材確保～」のテーマで講演を受けた。</p> <p>地域医療を再構築するために克服しなければならない課題として、①医師不足に代表される絶対的な人材不足への対応、②合併により急激に拡大したエリア（コミュニティ）に地域包括医療・ケアの理念を如何に浸透させるかが挙げられた。以下、その要旨である。</p> <p>平成16年4月、丹後6町の合併により市立病院となるが、周辺に医療機関が極めて少なく、地域住民の安心と安全を守る「最後の砦」として救急医療はもとより日常診療、在宅医療に取り組み、歯科医師を含む全ての医師が一体となって地域包括医療・ケアを展開していた。</p> <p>この地域は、3次医療機関までの距離が遠く、緊急時にはドクターヘリが頻繁に利用されている。しかし、地域住民にとっては、緊急時以外において、京阪神まで出かけて治療を受けるには地理的、</p>

また経済的な面から大きな負担になることから、病院設備で対応可能な場合は、患者が移動するのではなく、全国の医師、いわゆるスペシャリストに足を運んでもらい、技術の提供を受けていた。

同じく、このような地理的要因に伴い、小児救急を含む全ての救急に対応していた。当直医が専門でない場合でも応需し、専門医の応援が必要な場合は、出勤して対処する。これは、地域の医療を守るという責任感を持って診療する医師の意識と、医師同士の支え合いによるところが大きく、このことについての理解が地域住民にも浸透しており、いわばこの地域独特の「文化」が出来上がった状態になっているとのことであった。

また、歯科と口腔外科では、社会福祉施設と協働し、施設に訪問して摂食嚥下機能訓練や口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎による入院を減少させており、終末期ケアに至るまで、地域包括医療・ケアに取り組む姿勢が見て取れた。

このほか、市の医療確保奨学金制度（平成19年度より医学生・研修医を対象に設置、一般診療科は月額20万円、小児科・産婦人科希望者は月額25万円貸与、一定の条件で返還免除）や研修医の受け入れ等の医師確保の取り組みの結果、この2年間で奨学金受給者が4名入職しているなど、専門性と守備範囲の広さを兼ね備え、かつ地域に定住する医師が増えることにより、地域医療を支え続けることを目指していた。

その後、院内施設の見学を行った。

さぬき市民病院とは、病院の立地条件などに大きな違いはあるものの、地域医療を担うことに関しては大変参考となる事例であった。



備考

（参加者）教育民生常任委員会委員7名、市民病院経営管理局1名、教育委員会事務局1名、議会事務局1名 計10名

年 月 日	平成 27 年 11 月 17 日								
相 手 方 及 び 目 的	兵庫県朝来市 教育委員会事務局こども育成課、 朝来市立中川こども園、朝来市立山口こども園 「子育て支援施策の今後のあり方について」 (幼児教育と保育のあり方について (認定こども園))								
内 容 ・ 結 果 等	<p>【朝来市の状況】</p> <p>①平成17年4月1日に朝来郡内4町が合併</p> <p>②人口：3, 2131人 (平成27年4月1日現在) 世帯数：12, 309世帯 (平成27年4月1日現在)</p> <p>③乳幼児数 0歳児＝246人、1歳児＝216人、2歳児＝245人、 3歳児＝267人、4歳児＝277人、5歳児＝235人、 計1, 486人 (内、入園〔所〕者1, 062人)</p> <p>④認定こども園、保育所・幼稚園の現状</p> <table border="0" data-bbox="432 860 1123 1039"> <tr> <td>認定こども園</td> <td>8園 (公立7園、私立1園)</td> </tr> <tr> <td>公立幼稚園</td> <td>2園</td> </tr> <tr> <td>公立保育所</td> <td>1園</td> </tr> <tr> <td>私立保育園</td> <td>5園</td> </tr> </table> <p>【視察概要】</p> <p>市立中川こども園において、朝来市教育委員会こども育成課から説明を受けた。</p> <p>朝来市は平成17年4月に朝来郡内の4町が合併し市制施行されたが、旧町ごとの幼稚園の入園年齢が違うなど市内のサービスの統一を図ることが急務であり、同時に少子化による定員割れの状況にあった。</p> <p>このため、平成19年度にモデルとしてこども園1園の運営を開始し、市内の幼稚園・保育所の幼保一元化を順次進めていた。平成22年度からの4年間には6園が開園しており、今後は私立との調整を踏まえつつ、あと2園を整備し、最終的には計9園となる予定とのことである。</p> <p>実際に「市立中川こども園」と「市立山口こども園」の2園を現地視察した。既存施設を大規模改修や増築することにより、施設整備がされていた。</p> <p>運営については、3歳児以上は学級を編成し、午後2時までは同じ教育・保育を受けており、いわゆる幼稚園児には園区指定を設けている。</p> <p>特徴的な部分としては、各園に看護師もしくは養護教諭の配置がある。これにより、アレルギー体質の対応をはじめ、保護者の安心感が増したとのことである。</p> <p>また、市独自の子育て支援施設として、平成22年度から保育料</p>	認定こども園	8園 (公立7園、私立1園)	公立幼稚園	2園	公立保育所	1園	私立保育園	5園
認定こども園	8園 (公立7園、私立1園)								
公立幼稚園	2園								
公立保育所	1園								
私立保育園	5園								

の軽減を実施しており、内容は最高額を3歳児未満は2万3,000円、3歳児以上は2万円としており、幼稚園児の授業料5,700円と給食費の合計額との利用料格差を小さくしている。これがすべてではないと思われるが、私立を含む保育所入所者数は増加傾向にある（平成21年度の602人に比して平成27年度は281人増の883人）。

本市において、今後の認定こども園を視野に入れた幼保のあり方、さらには、子育て支援施策全般を検討していく上で大変参考になる事例であった。



備 考

（参加者）教育民生常任委員会委員7名、市民病院経営管理局1名、教育委員会事務局1名、議会事務局1名 計10名